

学力向上に係る効果的事例

【幸手市教育委員会】

①全教科における授業規律の確立

- ・自己の向上における目標をつくり、各クラスで掲示する。
- ・チャイム着席、授業中の姿勢、忘れ物無し等の呼びかけを行う。
- ・授業毎に各クラスで授業評価を行い、次の授業に生かす。

②国・数・英・社・理の授業での定期的な小テストの実施

- ・範囲を前もって知らせ、合格点を提示し、意欲の向上を図る。
- ・採点後は、やり直しを実施させ、基礎学力を定着させる。
- ・各教科の評価に入れる。
- ・評価カード等に家庭学習についての記録をし定着を図る。
- ・過去の問題を繰り返し行うことにより基礎学力の定着を図る。

③休み明けのテスト実施、および漢字、計算、スペリングコンテストの実施

- ・合格点8割を目標とし、達成者が90%以上を目指す。
- ・達成者については、学年だより、掲示等で発表賞賛する。
- ・不合格者については再テストを実施し、学力向上を図る。

④生活記録ノートでの生活習慣チェック、賞賛と励まし

- ・定期テストでの家庭学習の計画と実施の確認をする。
- ・各教科適切な課題を提示し、賞賛、励まし、評価を行い学力の定着を図る。
- ・家庭学習が身につくように保護者との連携を図る。

⑤授業ノートの充実

- ・国・数・英・社・理の授業のノートのより良い取り方を奨励する。
- ・自主学習も取り入れた自分のノートづくりを定着させる。
- ・学期末に評価、奨励する。

⑥サマースクールの実施

- ・夏休み7月中の4日間で行う。
- ・国・数・英の3教科で実施する。
- ・1日2コマを設定し、全職員で分担する。
- ・生徒は希望制とする。